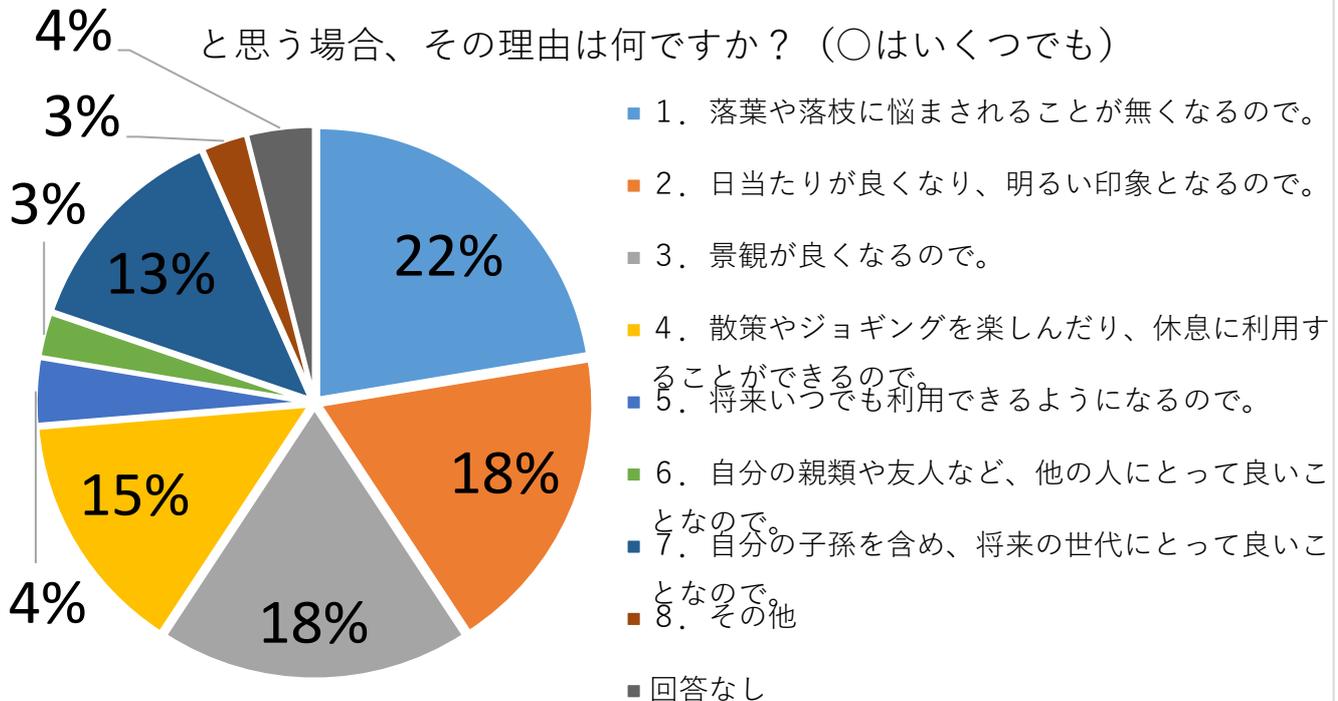


黒浜2号緑地 アンケート調査結果報告書

1 黒浜緑地整備事業について、おたずねします

こちらの項目は、黒浜緑地の利用方法をイメージしていただくことにより、緑地に期待する機能について、おたずねすることを目的とした設問となります。

1-問1 黒浜緑地整備計画説明会資料のような整備が行われると、あなた、またはあなたの世帯にとって、良いことがあると思う場合、その理由は何ですか？（○はいくつでも）



【集計結果】

「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」が22%で最多であり、次に、「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」及び「3. 景観が良くなるので」が18%、「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」と「7. 自分の子孫を含め、将来の世代にとって良いことなので」も10%以上となっていますが、「回答なし」も4%確認されます。

【結果分析】

「1. 落葉や落枝に悩まされることが無くなるので」及び「2. 日当たりが良くなり、明るい印象となるので」並びに「3. 景観が良くなるので」からは、緑地の樹木が大木であったり、過密であることが要因とされる課題の解決に期待があるものと考えられます。

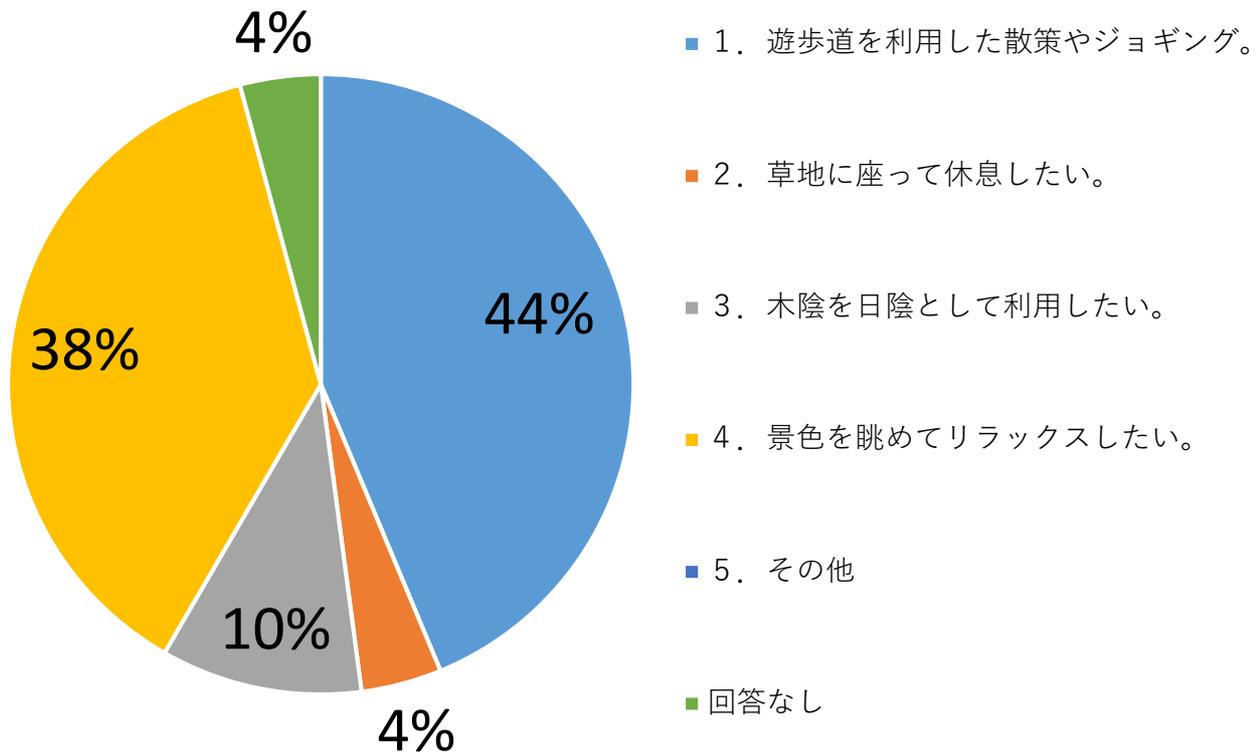
一方、「4. 散策やジョギングを楽しんだり、休息に利用することができるので」からは、散策やジョギング、休息のために日陰や緑化された空間が必要であるため、樹木による課題解決と同様に、期待される機能であると考えられます。

また、「7. 自分の子孫を含め、将来の世代にとって良いことなので」からは、将来の維持管理が、将来の世代にとって負担とならないこと、緑化された空間を財産として引き継ぐことへの双方の期待が存在するものと考えられます。

なお、「回答なし」も4%あるため、その意図の確認にも注意を払う必要があります。

黒浜2号緑地 アンケート調査結果報告書

1-問2 整備後に『緑地』を利用するとして、どのような目的での利用をしたいと思いますか？（○はいくつでも）



【集計結果】

「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」が44%で最多であり、次に、「4. 景色を眺めてリラックスしたい」が38%、合計で82%と回答の大勢を占めています。「3. 木陰を日陰として利用したい」は10%、「2. 草地に座って休息したい」は4%となっています。また、「回答なし」も4%確認されます。

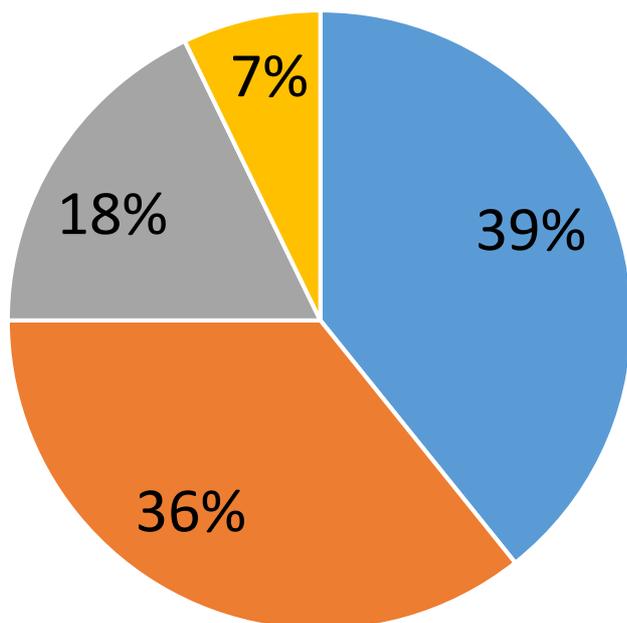
【結果分析】

「1. 遊歩道を利用した散策やジョギング」及び「4. 景色を眺めてリラックスしたい」が、合計で82%と回答の大勢を占めていることは、利用形態として、緑地の中に立ち入り活動するのではなく、遊歩道（緑道）又は自宅からの活用が想定されているものと考えられます。緑地への立ち入りの可能性が高い「3. 木陰を日陰として利用したい」や「2. 草地に座って休息したい」と緑地への立ち入りを前提とする利用想定は低いものと考えられます。

2 黒浜緑地の整備方針について、おたずねします

こちらの項目は、安心安全への懸念、落葉や落枝などの課題解決のための整備方針について、部分別に回答をお願いする設問となります。

2-問1 緑地整備方針について、伐採、剪定、現状のまま、いずれが良いと考えていますか？（○は1つ）



- 1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する。
- 2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく。
- 3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う。
- 4. その他
- 回答なし

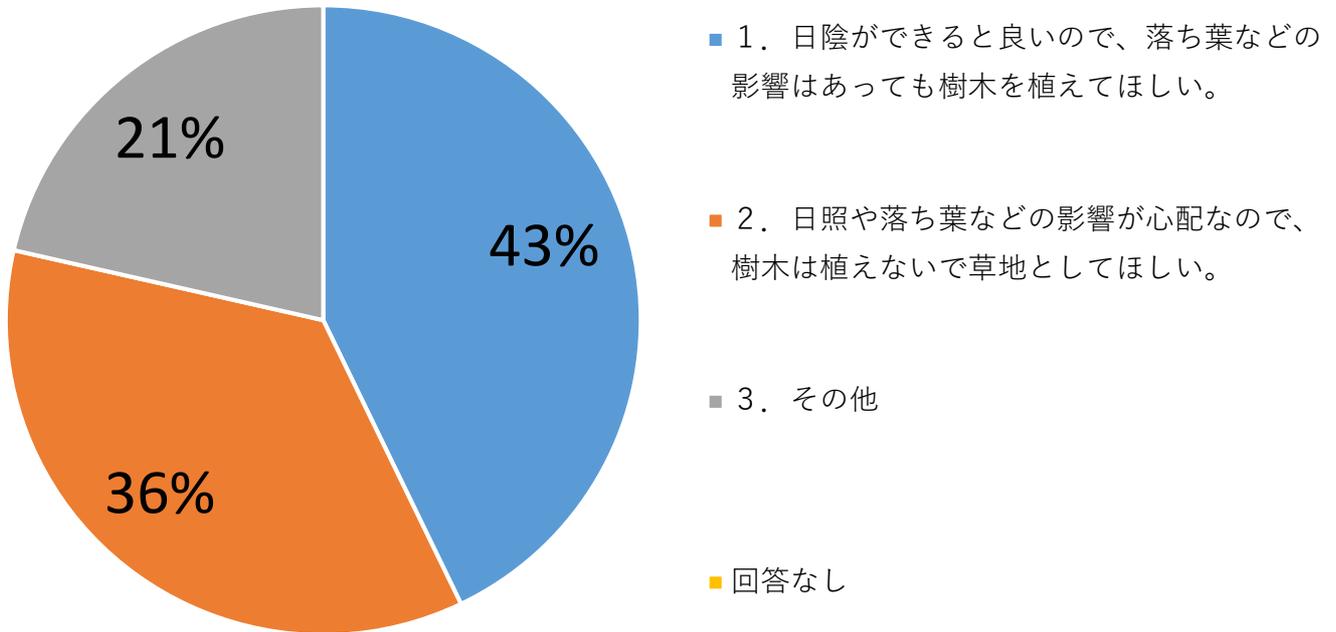
【集計結果】

「1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する」が39%で最多であり、「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく」が36%、「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」が18%と続き、「4. その他」は7%という結果でした。

【結果分析】

「1. 緑地の樹木を伐採、伐根し、斜面を整備する」が最多ではあるが、「2. 緑地の樹木の幹は残しつつ、落葉、落木が少なくなるよう剪定するとともに、今後の管理をしやすくするために間引いていく」も同程度の割合であることから、枝葉を含めた樹木の整理が必要なことは共通認識であるが、伐採か剪定か、伐採の場合にも伐根まで行うのかについては、状況により判断が異なるものと考えられます。また、「3. 緑地の樹木は現状のまま、剪定のみ行う」も前出の2案に続く案として考えられるとともに、「4. その他」にも、配慮の必要な意見が寄せられていると考えられます。

2 - 問 2 斜面の上部と下部の平坦な部分の整備についてお伺いします。
(○は1つ)



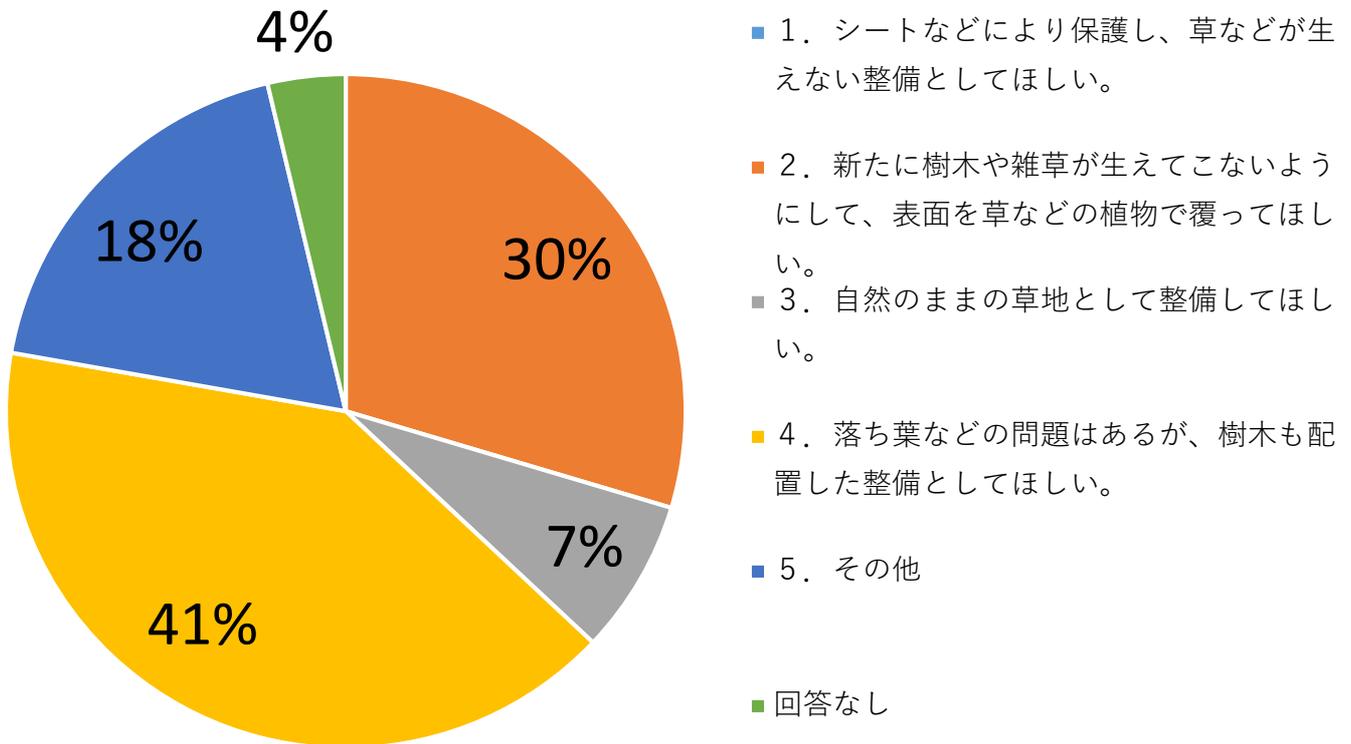
【集計結果】

「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」が43%で最も多くなっていますが、対して、「2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい」との回答も36%あり、「3. その他」も21%となっています。

【結果分析】

「1. 日陰ができると良いので、落ち葉などの影響はあっても樹木を植えてほしい」と「2. 日照や落ち葉などの影響が心配なので、樹木は植えないで草地としてほしい」が拮抗しており、判断が分かれます。「3. その他」には、条件を付して植栽を認める意見も確認できます。車道や住宅に近接、隣接する部分となるため、地域の方の生活環境に大きく影響する部分でもあるため、植栽の内容により判断が分かれます。

2-問3 斜面部分の整備の方法についてお伺いします。(○は1つ)



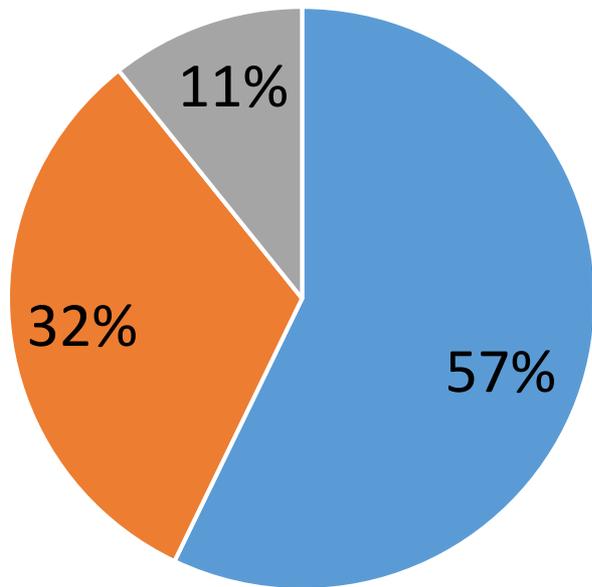
【集計結果】

「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備としてほしい」が、41%で最多であり、次に、「2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい」が30%、続いて、「その他」が18%、さらに、「3. 自然のままの草地として整備してほしい」が7%、「5. 回答なし」は4%という結果でした。

【結果分析】

「1. シートなどにより保護し、草などが生えない整備としてほしい」との回答はなく、「4. 落ち葉などの問題はあるが、樹木も配置した整備としてほしい」と、「2. 新たに樹木や雑草が生えてこないようにして、表面を草などの植物で覆ってほしい」との合計で大半を占めることから、斜面の保護に関しては、表面を植物系で覆うことが望まれているものと考えられます。また、「その他」の18%には、維持管理に関する要望が確認されています。

2-問4 安全を考慮し転落防止のため斜面部分周辺（斜面上部及び脇）にフェンスの設置を検討しております。これを踏まえ、斜面部分の活用方法についてお伺いします。（○は1つ）



- 1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい。
- 2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい。
- 3. その他
- 回答なし

【集計結果】

「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が57%で過半数、次いで、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」が32%であり、「3. その他」は11%という結果でした。

【結果分析】

「1. 斜面地から家の中が覗かれてしまうこと、転倒の危険性があるので、斜面地は立ち入り禁止としてほしい」が過半数、「2. 斜面地の維持管理に協力したいので、斜面地は立ち入り禁止としないほしい」も32%ではありますが、「3. その他」の意見も勘案すると、基本的には、斜面地は立ち入り禁止とする方向性で良いものと考えられます。

【整備の方向性】

今回のアンケート調査結果を踏まえ、2号緑地の整備方針に加え、設計業務に反映させる要望としては、以下のとおりであると考えられます。

- ・緑地の斜面部分については、斜面の角度や排水について、必要な対策を講じたうえで、表面については、植物による保護を行うことが好ましい。

- ・斜面上部の平坦部分については、落葉や倒木の危険に配慮しながら、一定の植樹を行うことが好ましく、植樹にあたっては、落葉の少ない常緑樹や、あまり背が高くないものが好ましい。

- ・斜面下部の平坦部分については、上部と同じく、落葉や倒木の危険に配慮しながら、一定の植樹を行うことが好ましく、留意事項も同一であるが、遊歩道（緑道）に面している部分では、季節を感じられる樹木などの若木への植替えも考えられる。

- ・斜面の上下部ともに、樹木の高さについては、住宅に近接・隣接する部分を中心に抑える必要があるが、利用目的からは、一定の木陰を形成することも望まれる機能と考えられる。

- ・望まれる機能のうち、斜面部分については、斜面地での活動を前提とする回答は少なく、景観など斜面部分への立ち入りを必要としない回答が多いため、可能となる部分では、季節を感じやすいもの、花を咲かせるものなどの若木へと植替えることも考えられる。

- ・同じく、斜面の利用については、立ち入りを想定するものではないので、上部はプライバシー保護と転落防止を目的とした、比較的頑強なフェンスやガードレール等を設置することが好ましい。

- ・下部については、斜面部分との分離を行うため、低灌木の植樹や柵の設置を行う必要があるが、進入を完全に不可能とするほどの強固な設備は必要ないと考えられる。

- ・加えて、上部のフェンスについては、プライバシー保護の観点から、斜面の先を見通せないように、目隠し等の対策があると良いが、対して、下部については、住宅側から斜面地に向かって、一定の視認性が確保できることが好ましい。

黒浜 2 号緑地 アンケート調査結果報告書

《その他でいただいたご意見》

1 一問 1	蜂の巣などが多く、危険なので安心の為。
	害虫・害鳥の心配が軽減される。(洗濯物が汚されない)
1 一問 2	
2 一問 1	剪定の②の案で概ね良いが、樹木を 20 年以上切っていないので、高さを切って頂かないと、風が吹く度、敷地に落木し、非常に怖い。大規模な剪定を希望します。
	落葉した後の斜面の土砂崩れが心配、できれば、もう少し高く石積みブロックしてください。斜面の角度が急で、高いので、幹を切って正解だったと思います。でも斜面上部は切った幹から伸びて行くのが高台で心配です。
2 一問 2	木が根を張って斜面を支えているので、そのまま。
	樹木は低く収める。間を空けてきちんと整備する、木が高すぎる。落葉には苦勞しています。
	低木や中低木を適当な間隔で植えて、下草はつつじ等。
	下部の家のプライバシーが守られるように目隠しが必要。手入れの要らない人工木フェンスなどが良い。椿やサザンカなどは害虫が付くので木を植えるのはやめてほしい。
	樹林はあっても良いが、落葉の清掃等きちんと整備管理をしてほしい。
2 一問 3	20 年以上放置し、下草だけの剪定しかしていない。自治会からも何度となくお願いしてきたと思う。植える植えないの話ではなく、安全、防犯の為、どちらにしても継続して整備が可能なものにしてほしい。
	明るい色のコンクリート防草舗装(固まる土)で整備、安易な防草シートでは景観が悪くなる。
	モルタルが安全だと思います。
	可能な限り現状維持。
	樹林はあっても良いが、落葉の清掃・落枝の剪定等管理をきちんと行ってほしい。
	私有地に隣接しているので、つる等が侵入してこないようにして欲しい。しっかり管理願います。
2 一問 4	貸し畑をやっているので、全部を切らなくていいので、枝などの伐採をお願いします。
	立ち入り禁止が良いが、排除の為のフェンス不要。
	転落防止のため、フェンスは必要と思うが、フェンスの種類にもよる